



湧別町立  
湧別小学校

# 学校だより

重点教育目標 「仲間と共に 学びを創る子ども」が育つ学校

令和4年4月25日（第2号）

文責：校長 秋山 康則

## 交通安全に気をつけて

このたび、湧別町商工会青年部の方々が来校し、1年生に「黄色い傘」を寄贈してくださいました。これは、交通事故を未然に防ぐため、雨の日でも見やすい黄色い傘をプレゼントすることにより、交通安全の意識を高めることをねらいとしたものだそうです。

傘を受け取った1年生は、「ありがとうございます。」としっかりお礼を述べることができました。そして、みんなで一緒に傘を広げ、交通安全に気をつけるよう気持ちを新たにしましたところですよ。

この機会に、1年生から6年生までのすべての学年において、再度、朝の会や帰りの会で、交通安全について指導を行いました。交差点では「とまる、見る、聴く、わたる」を徹底し、とび出しによる事故などがないよう心がけます。

ご家庭におきましても、登校前の声かけなど、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 「四季の森 五鹿山」～子どもたちへ図書プレゼント～

このたび、「ふるさとから学ぶ会」代表の梅田唯士様から、下の写真のとおり本を4冊、学校にご寄贈いただきました。

この本は、湧別在住の白幡美栄子さんと山本昇さんが五鹿山で撮影し、参考図書で確認できた144種の草花と22種の野鳥を中心にまとめた本です。

多彩な山野草や話題のシマエナガを含む野鳥の一つ一つに撮影した日が記されている

「四季の森 五鹿山」は、私たちに桜の名所・五鹿山が四季を通して自然が息づく山である

こと、撮影日を目安として五鹿山に出かけ、生育適地を中心に探索すれば、気になる草花に出会えることを教えてくれる、とても素敵な本です。

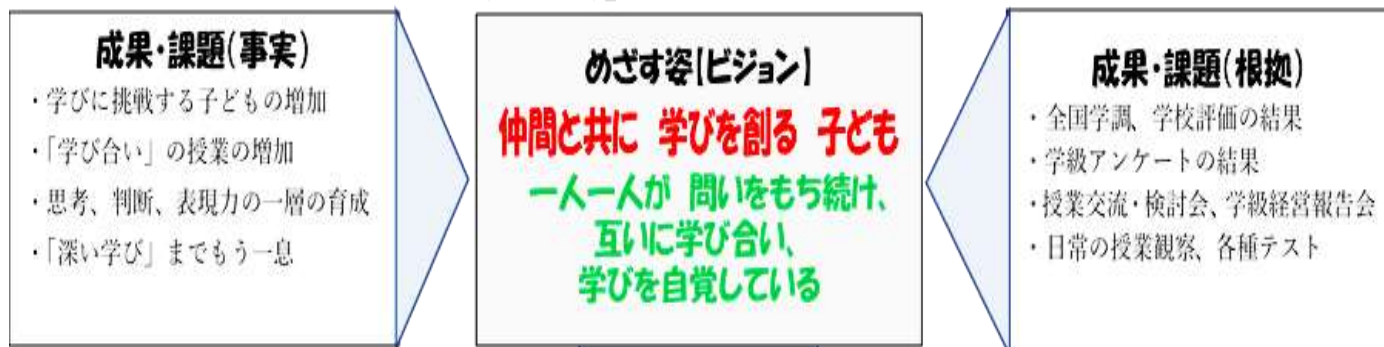
3年生から6年生までの学級に1冊ずつ置き、様々な学習で活用させていただきます。ご寄贈、ありがとうございました。



# 学校の全体構想図 湧小グランドデザイン

今年度1年間、次のようなビジョンやプロセスを掲げ、学校全体がチームとなり創意工夫した教育活動を進めてまいります。1年後の子どもたちの成長が楽しみです。

保護者や地域の皆様の変わらぬご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 取組の内容[プロセス]

まず、年間を通し、継続して

- ・ **学習環境をつくり、** (教室環境、学習規律、支え合う関係)
- ・ **学習技能をきたえ、** (読む、書く、聴く、話す、話し合う、計算する、図で考える、調べる、ICTの活用)
- ・ **問題解決の力をそだてる。** (問いをもつ→学び合う→まとめる→ふり返る)

その上で、読書活動と国語科の授業を中心として、学習の土台となる「**言葉の力**」(語彙力、読解力、情報活用力)を高め、さまざまな学びに自ら進んで挑戦できる力を育成する。(学びを創る力)

さらに、単元(授業)の中に「新たな発見のある課題」「少し難しい課題」「答えのない課題」などの**対話したくなる課題を設定し**、各教科等の見方・考え方を働かせながら、「**一人一人が問いをもち続け、互いに学び合い、学びを自覚する**」授業を学校全体で展開し、資質・能力を確実に身に付けさせる。

とりわけ、各教科の授業では、さまざまな文章や事象などを読み解き、自分なりに解釈したり、対話や探究などを通して得た知識も関連付けたりし、まとめたことを書き表し、書き切る力「**読解を経由する記述力**」を高める。

## チーム湧小・湧中[チーム・ネットワーク]

- ・ チームマネジメントのソフトアップ…教務主任、各部長に加え、複数のコーディネーターによる**リーダーシップチーム**の強化
- ・ スタッフマネジメントのソフトアップ…「めざす姿」に迫るための「全体テーマ+個人テーマ」設定による**ハイブリッドな校内研修**の推進
- ・ 学びを支える家庭や地域、外部人材との連携・協働の推進(家庭学習や運動などの生活習慣、地域・外部人材の教育力)
- ・ 学びをつなぐ学校づくりの実現(小中のコーディネーターによる学校段階間の連携・接続の強化、学校力の一層の向上)